

《人づくり分野》

生涯学習部

歳出目別財務諸表

部局名	生涯学習部	主管課名	生涯学習総務課	歳出目名	社会教育総務費
				事業類型	c その他

組織のミッション	(生涯学習総務課のミッションは、)総務担当課として関係部署と連絡・調整を図り、適切な運営をできるようにすることや生涯学習に関する基本方針を策定し、関係部署等が事業を円滑に進められるようすることです。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習及び社会教育の基本的な方針の策定に関すること 生涯学習部の総務担当課として関係部署との連絡・調整や適切な運営に関すること

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
・審議会の開催回数	件	0	6	7	5	
定性的な成果	◆生涯学習施策の立案及び評価について、適切に審議されている。					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		1,568	1,568
繰入金		0	0
その他		0	0
行政収入 小計(a)		1,568	1,568
人件費		50,474	50,474
うち時間外勤務手当		7,040	7,040
物件費		1,241	1,241
うち委託料		1,029	1,029
維持補修費		0	0
扶助費		0	0
補助費等		25	25
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		3,926	3,926
退職手当引当金繰入額		12,919	12,919
その他		0	0
行政費用 小計(b)		68,585	68,585
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 67,017	△ 67,017
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 67,017	△ 67,017
特別収入		0	0
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用		0	0
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 67,017	△ 67,017

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	生涯学習に関する市民意識調査委託料 1,029千円 委託料以外 主として消耗品費 144,781円 複写機使用料 59,071円

勘定科目	使用料及手数料
決算額の主な内訳	行政財産使用料 1,568千円

勘定科目	
決算額の主な内訳	

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	賞与引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	
増減理由	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債		3,424	3,926	502
	未収金	0	0	0	還付未済金		0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債		0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金		3,424	3,926	502
	貸倒引当金	0	0	0	その他		0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債		92,637	95,283	2,646
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債		0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金		92,637	95,283	2,646
	建物	0	0	0	その他		0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益		0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金		0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		96,061	99,209	3,148
	有形固定資産	0	0	0	純資産		△ 96,061	△ 99,209	△ 3,148
	土地	0	0	0					
	工作物	0	0	0					
	無形固定資産	0	0	0					
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計		△ 96,061	△ 99,209	△ 3,148
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計		0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0					
	投資その他の資産	0	0	0					
	有価証券及出資金	0	0	0					
	特定目的基金	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	資産の部合計	0	0	0					

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	1,568	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	65,436	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 63,868	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	0
			収支差額 合計 (a)+(b)+(c)		△ 63,868
			一般財源充当調整額		63,868

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合

▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	4	0	0	0	0	0.0
生涯学習審議会事務	0.5	0	0	0	0	0.0
教育プラン改訂事業	0.5	0	0	0	0	0.0
関係機関調整事務	0.2	0	0	0	0	0.0
課内庶務事務	1.5	0	0	0	0	0.0
部内庶務事務	1.3	0	0	0	0	0.0

▽事業の財源内訳

IV.個別分析

V.総括

①財務分析

- ・行政費用の大部分(83.9%)を人件費が占めています。
- ・財源は、ほぼ全額(98.7%)を市負担で賄っています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・社会教育総務費は大部分を人件費が占めているため、部内庶務事務の業務改善により、時間外の削減が可能か検討していくことが課題となります。

歳出目別財務諸表

部局名	生涯学習部	主管課名	生涯学習総務課	歳出目名	文化財事業費
				事業類型	a 施設所管型

組織のミッション	文化財事業のミッションは、町田市固有の文化財・歴史資料の保護・維持・管理に努め、市民がそれらに触れられる機会・場所の提供及び情報を発信することにより、市民が郷土への理解と愛着を深められるようにすることです。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護に関すること。 ・考古資料室の管理に関すること。 ・考古学等の研修に関すること。 ・埋蔵文化財の保護に関すること。 ・文化財の広報に関すること。

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
高ヶ坂史跡整備の達成状況	%	0	35	45	75	高ヶ坂史跡整備における、達成状況割合
指定文化財の修繕の達成状況	%	0	25	50	100	旧荻野家住宅の修繕における、達成状況割合
西谷戸横穴墓群史跡整備の達成状況	%	25	25	75	100	西谷戸横穴墓群史跡整備における、達成状況割合
定性的な成果		<ul style="list-style-type: none"> ◆国遺跡の高ヶ坂遺跡を整備して、遺跡公園として公開することを目標に計画を策定している。 ◆都指定有形文化財の旧荻野家住宅の保存修理工事を完了し、市民に公開することを目標に計画を策定している。 ◆都指定史跡の西谷戸横穴墓群の史跡の保全と見学者の安全確保のために、緊急に崩落防止工事をした。 				

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		4,607	4,607
都支出金		29,098	29,098
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		302	302
繰入金		0	0
その他		780	780
行政収入 小計(a)		34,787	34,787
人件費		56,339	56,339
うち時間外勤務手当		1,238	1,238
物件費		74,105	74,105
うち委託料		49,431	49,431
維持補修費		1,830	1,830
扶助費		0	0
補助費等		2,148	2,148
繰出金		0	0
減価償却費		14,427	14,427
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,861	1,861
退職手当引当金繰入額		0	0
その他		0	0
行政費用 小計(b)		150,710	150,710
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 115,923	△ 115,923
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		2,120	2,120
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 2,120	△ 2,120
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 118,043	△ 118,043
特別収入		0	0
その他		5,292	5,292
特別収入 小計 (h)		5,292	5,292
特別支出		0	0
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		5,292	5,292
当期収支差額 (g)+(j)		△ 112,751	△ 112,751

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	国庫支出金
決算額の主な内訳	「高ヶ坂代遺跡整備促進事業」に2,333千円、「埋蔵文化財保護事業」に2,274千円。

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	「重点事業 高ヶ坂遺跡整備促進事業」に1,166千円、「埋蔵文化財保護事業」に1,137千円、「古民家保存事業」に1,575千円他。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	主として、国・都・市が指定する文化財の維持・管理・保存・活用費など。

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	減価償却費による影響で前期比11,220千円減少。

勘定科目	地方債
増減理由	地方債の償還による前期比15,841円減少。

勘定科目	退職引当金
増減理由	従事人員の変動による。

◆貸借対照表

(単位:千円)

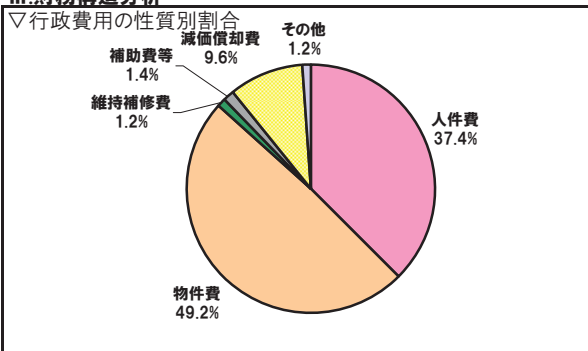
勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	17,322	17,702	380	
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	15,290	15,841	551	
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	2,032	1,861	△ 171	
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0	
	その他	0	0	0	固定負債	118,014	92,358	△ 25,656	
事業用資産	有形固定資産	1,310,279	1,299,059	△ 11,220	地方債	63,042	47,201	△ 15,841	
	土地	959,981	959,981	0	退職手当引当金	54,972	45,157	△ 9,815	
	建物	350,298	339,078	△ 11,220	その他	0	0	0	
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	135,336	110,060	△ 25,276	
	有形固定資産	0	0	0	純資産	1,174,943	1,188,999	14,056	
	土地	0	0	0					
	工作物	0	0	0					
	無形固定資産	0	0	0					
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	1,174,943	1,188,999	14,056	
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計	1,310,279	1,299,059	△ 11,220	
	建設仮勘定	0	0	0					
	投資その他の資産	0	0	0					
	有価証券及出資金	0	0	0					
	特定目的基金	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	資産の部合計	1,310,279	1,299,059	△ 11,220					

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

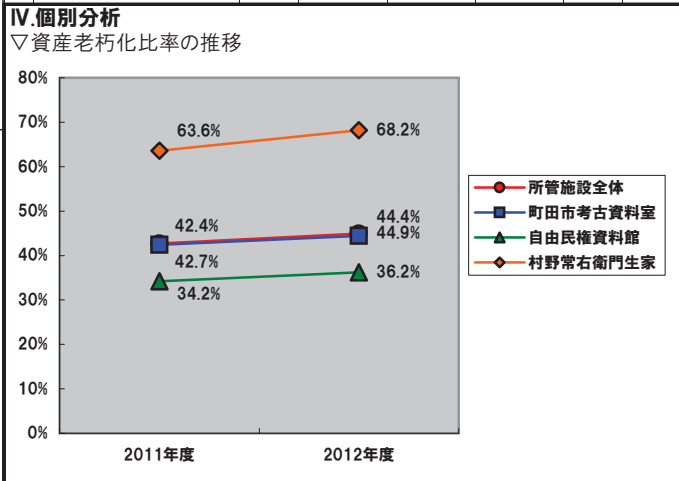
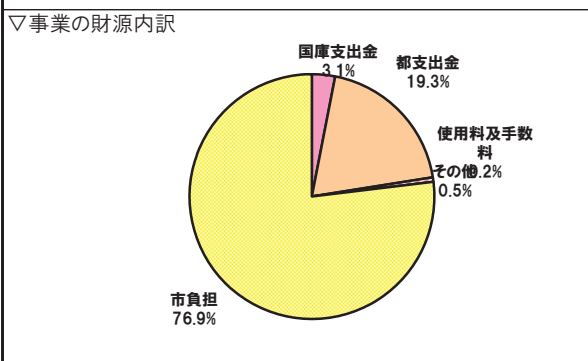
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	34,788	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	161,474	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	15,290
行政サービス活動収支差額(a)	△ 126,686	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	△ 15,290
				収支差額 合計 (a)+(b)+(c)	△ 141,976
				一般財源充当調整額	141,976

III.財務構造分析



▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	7	1	1	0	3	0.7
内訳						
文化財保護に関する事務	3.3		1.0			
文化財の調査等に関する事業	0.3					
文化財保護に関する事務(その他)	1.0					
考古資料室に関する事業	0.1					
自由民権資料館に関する事業	2.3	1.0			3.0	0.7



V.総括

①財務分析

事業用資産として、9.5億円の土地の資産を保有しています。行政費用は、物件費と人件費とで85%以上をしめているところに特徴があります。文化財等の維持・保存・管理・活用等に約50%の物件費を費やし、人件費の割合が35%を超えてきております。国や東京都の指定の文化財及び埋蔵文化財等の関連で国庫支出金と東京都支出金とが20%以上の財源となっているのが特徴です。

②財務分析を踏まえた事業の課題

村野常右衛門生家の老朽化率が顕著となっている。市指定文化財であるため、その保全に向けた計画的な取組みを検討しなければならない。土地資産については、重点事業の「高ヶ坂石器時代遺跡」や「西谷戸横穴墓群」等が整備中で、整備完了後の公開活用が不可欠である。物件費割合が高いのは、遺跡・古民家有形固定文化財保全のため、市が所有しているためである。これらの文化財資源の市民への還元努めたい。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	生涯学習総務課	歳出目名	文化財事業費	事業名	自由民権資料館事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	市域の歴史史料の収集・保護に努めるとともに、それらに触れる機会を提供し、市内外に歴史情報を発信することで多くの方が町田市や歴史について理解を深められるようにすることです。
------	---

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
自由民権資料館 来館者数	人	5504	5665	5800	6400	自由民権資料館に来館されたお客様の人数
定性的な成果	◆常設の展示以外に、様々な企画展示やイベント等を行い、歴史学習に関する情報発信を行うことができました。					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		25,200	25,200
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		748	748
行政収入 小計(a)		25,948	25,948
行政費用			
人件費		32,964	32,964
物件費		38,460	38,460
うち委託料		30,024	30,024
維持補修費		974	974
扶助費		0	0
補助費等		928	928
繰出金		0	0
減価償却費		7,391	7,391
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		632	632
退職手当引当金繰入額		0	0
その他		0	0
行政費用 小計(b)		81,349	81,349
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 55,401	△ 55,401
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		1,917	1,917
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 1,917	△ 1,917
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 57,318	△ 57,318
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		11,825	11,825
特別収入 小計 (h)		11,825	11,825
特別支出			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		11,825	11,825
当期収支差額 (g)+(j)		△ 45,493	△ 45,493

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	緊急雇用促進事業費臨時特例補助金 25,200千円

勘定科目	物件費(うち委託料)
決算額の主な内訳	収蔵資料デジタル化・データベース化業務委託料 25,200千円

勘定科目	
決算額の主な内訳	

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	減価償却費による7,391千円の減少。

勘定科目	地方債
増減理由	元利償還による15,290千円の減少。

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

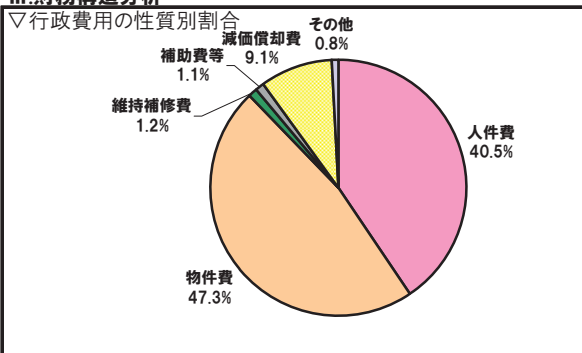
指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
自由民権資料館 来館者1人あたり コスト	人	2012	5665	14,360	自由民権資料館来館者1人あたり14,360円のコストがかかっています。
開館日数1日あたり コスト	日	2012	296	274,828	自由民権資料館開館日1日あたり274,828円のコストがかかっています。
		2012			

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	16,384	16,473	89
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	15,290	15,841	551
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	1,094	632	△ 462
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	72,242	42,142	△ 30,100
事業用資産	有形固定資産	577,850	570,459	△ 7,391	地方債	42,642	26,801	△ 15,841
	土地	334,577	334,577	0	退職手当引当金	29,600	15,341	△ 14,259
	建物	243,273	235,882	△ 7,391	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	88,626	58,615	△ 30,011
固定資産	有形固定資産	0	0	0	純資産	489,224	511,844	22,620
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	0	0	0				
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	489,224	511,844	22,620
	資産の部合計	577,850	570,459	△ 7,391	負債及び純資産の部合計	577,850	570,459	△ 7,391

III.財務構造分析



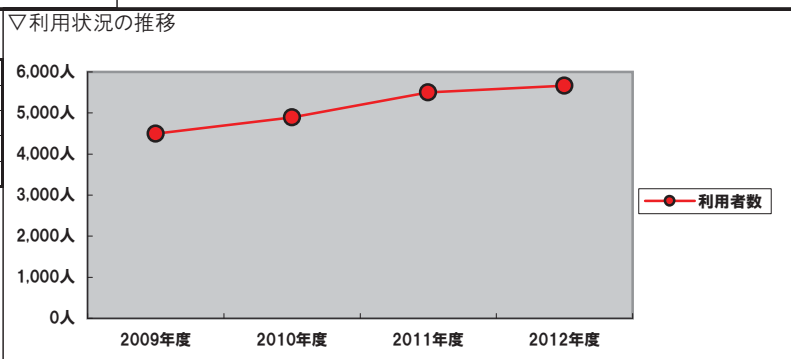
▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	2.0	1.0	0.0	0.0	3.0	0.8
内訳						
自由民権資料館管理事務	0.98	0.92	0		0.27	0.456
自由民権資料館資料保管事務	0.27	0	0		0.3	0.28
自由民権資料館展示事業	0.39	0	0		1.23	0
自由民権資料館図書刊行事業	0.11	0.03	0		0.6	0.04
自由民権資料館普及事業	0.25	0.05	0		0.6	0.024

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	自由民権資料館
建設年月日	1986年5月1日
取得価額	369,527,413円
減価償却累計額	133,644,996円
利用者数	5,665人



V.総括

①財務分析

- ・行政費用の40.5%を人件費が、47.3%を物件費が占めています。物件費の多くは施設管理のための委託料です。
- ・2012年度は緊急雇用促進事業を実施しました。物件費の内、25,200千円の委託料がこの事業費で、これは全額が都補助金によるものです。
- ・来館者1人当たりのコストは14,360円ですが、ここから上記の都補助金による委託事業費を除き、市費のみで算出した場合のコストは、1人当たり9,911円となります。
- ・地方債は、毎年返還されています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・建物が老朽化してきており、今後は維持補修費等、施設に要する費用が増えていくことが予想されます。
- ・行政費用の点検をし適正な執行を心がけると同時に、魅力ある展示・企画などの事業を実施し、来館者を増やしていくことが必要です。

歳出目別財務諸表

部局名	生涯学習部	主管課名	生涯学習センター	歳出目名	生涯学習センター費
				事業類型	a 施設所管型

組織のミッション	生涯学習センターのミッションは、町田市での生涯学習の拠点として、広く市民に学習の機会や場、情報を提供し、市民の学習相談に対応するとともに、市民がいつでも自由に学習できるように支援することです。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に係る全体計画の立案及び推進に関すること 市民大学事業その他の生涯学習に係る講座、講演会等の実施に関すること 生涯学習に係る関係機関との総合調整に関すること 生涯学習に係る情報の集約及び市民への提供に関すること 生涯学習に係る相談に関すること 地域の教育力の向上の推進に関すること

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
生涯学習センターの利用者数	人	159,761	176,570	180,000	191,000	2011年8月から施設使用料が有料化され、前年度は一時的に利用者数の減少があったものの、本年度は増加しました。
講座・講演、事業の参加者数	人	17,584	28,188	30,000	31,000	公民館事業と市民大学事業を総合化し、生涯学習センターを開設したことにより、参加者が増加しました。
定性的な成果		<ul style="list-style-type: none"> ◆本年度は、「町田市生涯学習推進計画」の方針案を作成したほか、生涯学習情報を収集して情報資料コーナーを充実しました。また、様々な学習相談に対応し、市民の学習ニーズに応えました。 ◆一方で、市民同士が共に学び、教え合い、地域の生涯学習活動を活性化させるため、ボランティアバンク事業として生涯学習ボランティア講師の登録・派遣制度の運用を2013年3月から開始しました。 ◆市内及び近隣の大学、さがまちコンソーシアム等の団体のノウハウを生かしながら連携事業を実施しました。 ◆その結果、2011年8月に施設使用を有料化したことにより減少していた来館者数が増加に転じ、生涯学習の拠点として充実を図ることができました。 				

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		7,502	7,502
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		11,381	11,381
繰入金		0	0
その他		4,528	4,528
行政収入 小計(a)		23,411	23,411
人件費		146,054	146,054
うち時間外勤務手当		4,329	4,329
物件費		44,825	44,825
うち委託料		16,173	16,173
維持補修費		6,778	6,778
扶助費		0	0
補助費等		68,000	68,000
繰出金		0	0
減価償却費		16,688	16,688
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		3,487	3,487
退職手当引当金繰入額		11,660	11,660
その他		0	0
行政費用 小計(b)		297,492	297,492
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 274,081	△ 274,081
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		13,881	13,881
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 13,881	△ 13,881
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 287,962	△ 287,962
特別収入		0	0
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出		0	0
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 287,962	△ 287,962

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	障害者施策推進区市長村包括補助事業補助金3,751千円、市町村総合交付金(さがまちコンソーシアム)3,000千円、高齢社会区市町村包括補助事業補助金(ことぶき大学)

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	生涯学習センター光熱水費15,040千円、生涯学習センター施設貸出管理業務委託10,901千円、町田市立学校開放業務委託2,140千円

勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	町田センタービル管理負担金42,210千円、講師謝礼8,336千円、(障)青年学級担当者謝礼6,586千円、さがまちコンソーシアム運営支援負担金5,000千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	地方債
増減理由	元利償還による149,977千円の減少。

勘定科目	建物
増減理由	減価償却による16,262千円の減少。(内訳:まちなか中央公民館14,929千円、市民大学HATS陶芸スタジオ1,333千円)

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

◆貸借対照表

(単位:千円)

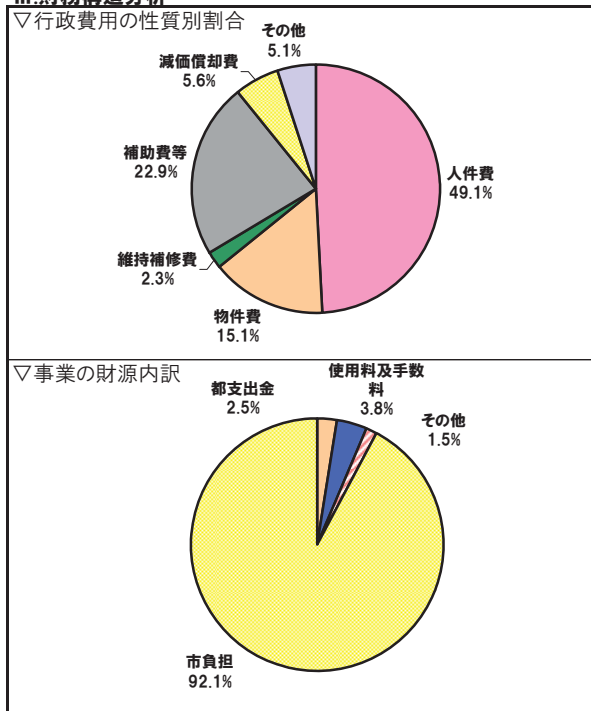
勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	153,029	153,795	766
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	149,977	150,308	331
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	3,052	3,487	435
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	1,601,113	1,452,859	△ 148,254
事業用資産	有形固定資産	2,326,907	2,310,645	△ 16,262	地方債	1,518,538	1,368,230	△ 150,308
	土地	1,706,823	1,706,823	0	退職手当引当金	82,575	84,629	2,054
	建物	620,084	603,822	△ 16,262	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	1,754,142	1,606,654	△ 147,488
	有形固定資産	0	0	0	純資産	579,535	710,335	130,800
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	3,785	3,359	△ 426	負債及び純資産の部合計	2,333,677	2,316,989	△ 16,688
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	2,985	2,985	0	純資産の部合計	579,535	710,335	130,800
	有価証券及出資金	2,985	2,985	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	2,333,677	2,316,989	△ 16,688				

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

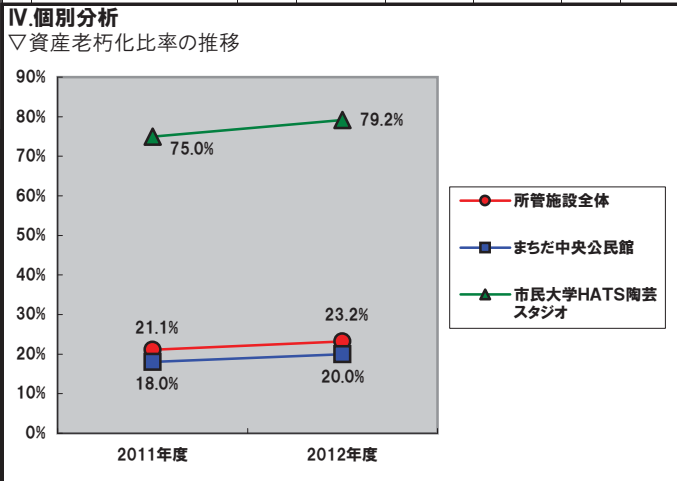
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	23,411	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	292,195	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	149,977
行政サービス活動収支差額(a)	△ 268,784	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	△ 149,977
				収支差額 合計 (a)+(b)+(c)	△ 418,761
				一般財源充当調整額	418,761

III.財務構造分析



▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	15	0	2	0	9	0.0
生涯学習センター管理事務	3.9		0.6			0.4
公民館事業事務	6.4		1.3			8.1
教室開放事業事務	0.4					
生涯学習支援事業事務	3.8		0.1			0.5
さがまちコンソーシアム事務	0.5					



V.総括

①財務分析

生涯学習センターの歳入状況は、学習室貸し出しによる使用料11,381千円、都支出金7,502千円(障がい者青年学級、さがまちコンソーシアム、ことぶき大学)、その他収入4,528千円(市民大学講座参加費3,026千円、印刷機・コピー機使用料1,502千円)で、合計は23,411千円です。一方、歳出の主なものは、職員人件費が146,054千円、補助費68,000千円、物件費44,825千円で、職員人件費を除くと、町田センタービル管理負担金42,210千円、生涯学習センター光熱水費15,040千円、施設貸出管理業務委託10,901千円、講師謝礼8,336千円、(障)青年学級担当者謝礼6,586千円、さがまちコンソーシアム運営支援負担金5,000千円で、合計は297,492千円です。行政収支差額は△274,081千円となっています。

事業の財源内訳をみると、市負担が92.1%となっており、ほとんど全ての財源を町田市の財源に依存しています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

2012年度の維持補修費は、6,778千円となっており、歳出に占める割合は2.2%でしたが、生涯学習センターが所管する建物は、また中央公民館が2002年11月1日建築、市民大学HATS陶芸スタジオが1993年12月20日建築で、築後10年、20年が経過しています。

建物や設備の老朽化を考えると今後は多大な維持補修費の支出が懸念されます。したがって、計画的な長期修繕計画に基づいた維持補修費の予算措置が生涯学習センターの課題となります。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	生涯学習センター	歳出目名	生涯学習センター費	事業名	教室開放事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	開放区画が整備されている市内の学校(小学校3校、中学校1校)の特別教室を、学校の授業等に支障のない平日の夜間及び土曜、日曜日に地域の団体やサークルに対して開放することにより、市民の学習活動や地域活動の場として活用することを目的としています。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
教室開放利用件数	件	323	329	335	350	夜間、土・日曜日の限られた利用や公共交通の不便さから近隣地域団体のみ利用のため件数は横ばいです。
教室開放利用者数	人	5,346	5,026	5,100	5,350	同上
定性的な成果	<p>◆市内4校(木曾境川小学校、本町田小学校、小山ヶ丘小学校、鶴川中学校)の特別教室を開放することで、市民の学習活動や地域活動を行える場を確保しました。</p> <p>◆小中学校の特別教室を開放することで、当該小中学校のPTAの活動や会議に多く利用され、地域の自治会、子供会、マンション管理組合の活動などにも利用されました。特に、鶴川中学校の小ホールでは、歌や詩吟、管楽器を使用した音楽サークルに定期的に利用されており、小山が丘小の理科室では書道サークルが地域の子供達に習字を教えており、本町田小の多目的教室では、地域の子供達を対象とした「工作クラブ」の利用が定期的に行われています。</p> <p>◆その結果、地域のより身近な場所で活動が行えるようになり、地域の活性化や地域の子供達の生涯学習への参加の機会が増加しました。</p>					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		0	0
行政収入 小計(a)		0	0
行政費用			
人件費		3,171	3,171
物件費		2,351	2,351
うち委託料		2,140	2,140
維持補修費		0	0
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		92	92
退職手当引当金繰入額		1,793	1,793
その他		0	0
行政費用 小計(b)		7,407	7,407
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 7,407	△ 7,407
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 7,407	△ 7,407
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別費用			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別費用 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		0	0
当期収支差額 (g)+(j)		△ 7,407	△ 7,407

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	開放教室電話料、電気料、ピアノ調律代(需用費) 207千円 開放教室管理業務委託 2,140千円

勘定科目	
決算額の主な内訳	

勘定科目	
決算額の主な内訳	

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	賞与引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
教室開放利用件数1件当たりのコスト	件	2012	329	22,514	教室開放利用件数1件当たり22,514円のコストがかかっています。
特別教室利用者1人当たりのコスト	人	2012	5026	1,474	特別教室利用者1人あたり1,474円のコストがかかっています。

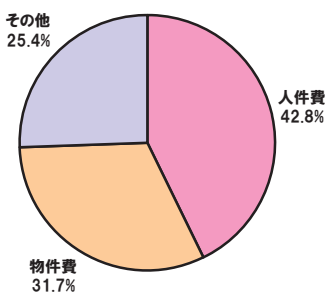
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	18	92	74
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	18	92	74
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	495	2,230	1,735
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	495	2,230	1,735
	建物	0	0	0	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	513	2,322	1,809
	有形固定資産	0	0	0	純資産	△ 513	△ 2,322	△ 1,809
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	△ 513	△ 2,322	△ 1,809
	図書	0	0	0	負債及び純資産の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	0	0	0				

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業に関わる人員 (単位:人)

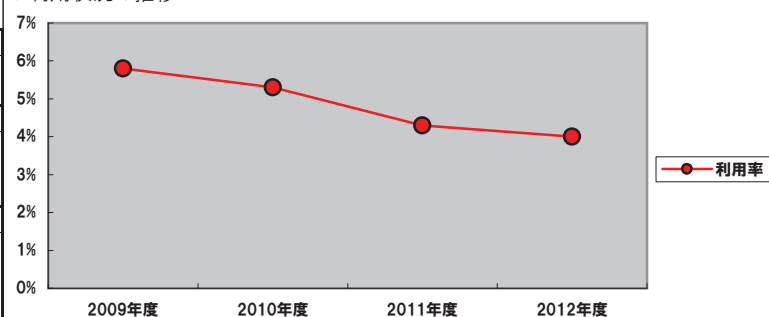
業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	0.4	0	0	0	0	0
学校特別教室開放事務	0.4					
高校の開放委員会連絡調整事務	0					

IV.個別分析

▽施設の概況

利用率	4.0%
利用率数を、延べ開放件数で割った数値です。	
利用件数	329件
地域の団体やサークルが、開放された特別教室を利用した件数です。	
延べ開放件数	8025件
4校15室の特別教室を、平日の夜間(2012年度は196日)と、土・日・祝日(同113日、午前、午後、夜間)に開放した件数。 8,025=535(196日×1回+113日×3回)×15教室	

▽利用状況の推移



V.総括

①財務分析

単位あたりのコスト分析では、施設利用者1人当たり1,474円のコストがかかっています。利用率は、最近5年間5%前後で推移しており、今後、利用率を高めることができれば1人あたりのコスト単価が引き下げられます。

②財務分析を踏まえた事業の課題

開放教室の利用率向上のため、チラシや冊子を地域に配布するなどしてPR活動を行っていますが、学校の授業等に支障のない範囲で利用するという一定の制約のある中で、利用率をどのように上げていくかが今後の課題となります。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	生涯学習センター	歳出目名	生涯学習センター費	事業名	公民館事業
				事業類型	1 施設運営受益者負担型

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民の実生活に即する教育、学術、文化に関する事業を行い、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与します。 市民団体、学習グループに対して、会場の提供、その他活動を支援します。 地域課題の解決に向けて担い手を育成します。
------	---

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
講座・事業参加者(延数)	人	23,269	28,188	29,000	30,000	生涯学習センターオープンイベントや子どもフェアを開催しPRしたことにより、参加人数が増加しました。
講座、事業開催数(延数)	回	630	653	660	660	生涯学習センターに総合化したことで、講座・講演会、事業数が増加しました。
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆2012年度から公民館事業、市民大学事業を総合化し、生涯学習センターを開設したことにより、各事業の目的を明確化し、再構築することで、生涯学習の効率的な推進を行いました。 ◆その結果、市民の自主的な活動が促進され、生涯学習の拠点として、学習情報の収集・発信、団体の活動の支援、学習相談の充実を図ることができました。 					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		4,502	4,502
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		11,381	11,381
繰入金		0	0
その他		4,526	4,526
行政収入 小計(a)		20,409	20,409
行政費用			
人件費		85,223	85,223
物件費		38,281	38,281
うち委託料		14,022	14,022
維持補修費		6,778	6,778
扶助費		0	0
補助費等		57,960	57,960
繰出金		0	0
減価償却費		16,688	16,688
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,495	1,495
退職手当引当金繰入額		0	0
その他		0	0
行政費用 小計(b)		206,425	206,425
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 186,016	△ 186,016
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		13,881	13,881
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		△ 13,881	△ 13,881
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 199,897	△ 199,897
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		14,582	14,582
特別収入 小計 (h)		14,582	14,582
特別支出			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		14,582	14,582
当期収支差額 (g)+(j)		△ 185,315	△ 185,315

◆行政コスト計算書の特記事項

勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	障害者施策推進区市町村包括補助事業補助金(青年学級)3,751千円、高齢社会区市町村包括補助事業補助金(ことぶき大学)751千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	生涯学習センター光熱水費15,040千円、生涯学習センター施設貸出管理業務10,901千円、陶芸スタジオ(施設清掃、ごみ処理、機械警備など)委託1,256千円

勘定科目	補助費
決算額の主な内訳	町田センタービル管理負担金42,210千円、講師謝礼7,338千円、障がい者青年学級担当者謝礼6,586千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	地方債
増減理由	元利償還による149,977千円の減。

勘定科目	建物
増減理由	減価償却による16,262千円の減。 (内訳:まちだ中央公民館 14,929千円、まちだ市民大学HATS陶芸スタジオ 1,333千円)

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
生涯学習センター利用者数	人	2012	176,570	1,169	生涯学習センター利用者1人あたり、1,169円のコストがかかっています。
開館日	日	2012	347	594,885	生涯学習センター開館日1日あたり、594,885円のコストがかかっています。
講座、事業開催数	回	2012	653	316,118	公民館事業で行う講座等の1事業あたり、316,118円のコストがかかっています。

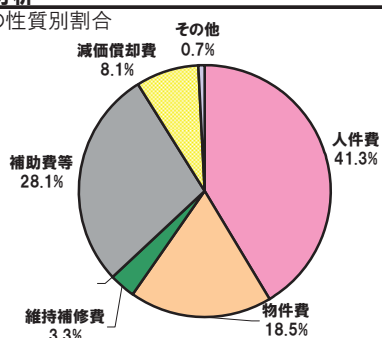
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	152,104	151,803	△ 301
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	149,977	150,308	331
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	2,127	1,495	△ 632
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	1,576,093	1,404,508	△ 171,585
事業用資産	有形固定資産	2,326,907	2,310,645	△ 16,262	地方債	1,518,538	1,368,230	△ 150,308
	土地	1,706,823	1,706,823	0	退職手当引当金	57,555	36,278	△ 21,277
	建物	620,084	603,822	△ 16,262	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,728,197	1,556,311	△ 171,886
	土地	0	0	0	純資産	605,480	760,678	155,198
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	3,785	3,359	△ 426				
固定資産	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	2,985	2,985	0				
	有価証券及出資金	2,985	2,985	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	605,480	760,678	155,198
	資産の部合計	2,333,677	2,316,989	△ 16,688	負債及び純資産の部合計	2,333,677	2,316,989	△ 16,688

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業に関わる人員

(単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	6.5	0.0	1.3	0.0	8.2	0.0
公民館事業事務	3.2		1.2		2	
障がい者青年学級事務	1.5		0.1		0.8	
家庭教育支援事業事務	0.4				0.5	
ことぶき大学事業事務	0.2				0.4	
市民大学事業事務	1.2				4.5	

IV.個別分析

▽施設の概況

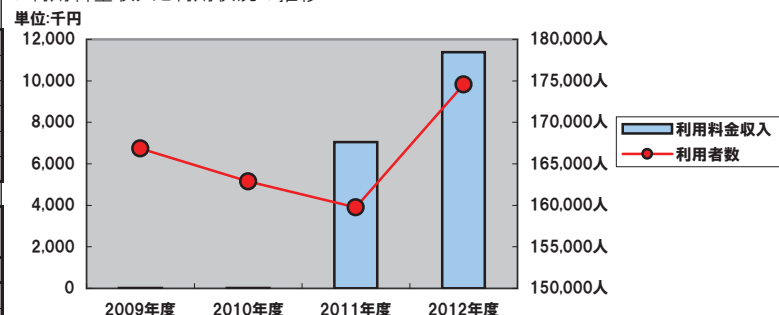
施設の名称	まちだ中央公民館
建設年月日	2002年11月1日
取得価額	746,445,000円
減価償却累計額	149,289,000円
利用者数	176,570人
利用料金収入	11,381,100円

受益者負担の割合	5.5%
----------	------

▽施設の概況

施設の名称	市民大学HATS陶芸スタジオ
建設年月日	1993年12月20日
取得価額	31,995,900円
減価償却累計額	25,330,080円
利用者数	1,554人

▽利用料金収入と利用状況の推移



※2011年8月から学習室、ホール等の施設貸出が有料化された。

V.総括

①財務分析

公民館事業は、ことぶき大学事業、市民大学事業、障がい者青年学級事業、生涯学習支援事業、その他市民が参加する講座や講演会を行っており、ホール、学習室、視聴覚室、調理室、美術工芸室、音楽室などの施設貸出し業務も合わせて行っています。
 歳入は、学習室貸し出しによる利用料金収入の11,381千円、コインコピー機、講座参加費などのその他収入4,526千円、障がい者青年学級、ことぶき大学への都支出金の4,502千円で、合計は20,409千円です。一方、歳出の主なものは、町田センタービル管理負担金42,210千円、生涯学習センタービル光熱水費15,040千円、施設貸出管理業務10,901千円(シルバー人材センター)、講師謝礼7,338千円、障がい者青年学級担当者謝礼6,586千円で、行政収支差額は△186,061千円となっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

2011年8月から施設貸し出しが有料化されたことに伴い、2012年度は11,381千円の利用料金収入がりましたが、事業を実施している建物のまちだ中央公民館(2002年11月1日新築)、市民大学HATS陶芸スタジオ(1993年12月20日新築)は、施設や設備の老朽化が進んでおり、今後は多大な維持補修費の支出が懸念されます。維持補修費の歳出に占める割合はわずか3.2%でしたが、今後、同規模予算で公民館事業の運営を考えていくと維持補修費の増加は明らかであることから、事業の削減や見直しが課題となってきます。

歳出目別財務諸表

部局名	生涯学習部	主管課名	図書館	歳出目名	図書館費
				事業類型	a 施設所管型

組織のミッション	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備を通して、市民の知的で心豊かな生活の実現に寄与します。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館運営の企画、調査、研究及び統計に関すること。 ・図書館資料の収集、整理、閲覧及び貸出しに関すること。 ・読書普及を目的とした各種行事に関すること。 ・地域文庫等関係団体の育成援助に関すること。 ・図書館活動に係わるボランティアの育成に関すること。 ・市外図書館との図書資料の相互貸借に関すること。 ・移動図書館の運営に関すること。 ・図書館の維持管理に関すること。 ・町田市立図書館協議会に関すること。

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回	3.97	3.82	3.87	4	貸出数を蔵書数で除したもの(AV資料を含む)。
蔵書更新率	%	5.91	4.63	3.94	6.8	受入数を蔵書数で除したもの(AV資料を含む)。 鶴川駅前図書館は、新設初年度のため除外。
定性的な成果		<ul style="list-style-type: none"> ◆鶴川駅前図書館を開館しました。 ◆(仮称)忠生図書館の開館準備を進めました。 ◆図書館事業計画の策定を始めました。 ◆図書館運営体制の見直しを行いました。 ◆ICタグ導入・システム更改の準備を始めました。 ◆第二次町田市子ども読書活動推進計画を実施しています。 ◆事務処理マニュアルの改訂作業をしています。 ◆市民センター等での資料受渡しについて拡充策を検討しています。 				

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		1,037	1,037
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		12,759	12,759
行政収入 小計(a)		13,796	13,796
人件費		730,899	730,899
うち時間外勤務手当		27,168	27,168
物件費		222,558	222,558
うち委託料		38,606	38,606
維持補修費		25,968	25,968
扶助費		0	0
補助費等		59,579	59,579
繰出金		0	0
減価償却費		28,504	28,504
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		19,007	19,007
退職手当引当金繰入額		51,122	51,122
その他		0	0
行政費用 小計(b)		1,137,637	1,137,637
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 1,123,841	△ 1,123,841
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 1,123,841	△ 1,123,841
特別収入		0	0
その他		3,975	3,975
特別収入 小計 (h)		3,975	3,975
特別支出		87,435	87,435
不納欠損額		0	0
その他		2,415	2,415
特別支出 小計 (i)		89,850	89,850
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 85,875	△ 85,875
当期収支差額 (g)+(j)		△ 1,209,716	△ 1,209,716

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損87,435千円は、図書の除籍額。特別収入及び特別費用その他3,975千円と2,415千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整による。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	嘱託員共済費 38,050千円 臨時職員賞金33,825千円 光熱水費33,939千円(うち67.7%中央) 委託料38,606千円(1/3中央・1/3鶴川駅前)

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	図書館運営人件費。うち、嘱託員等報酬が247,455千円。

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	主な増加項目は、中央図書館の空調設備改修工事85,050千円

勘定科目	図書
増減理由	購入・寄贈による102,267千円の増加と除籍による87,435千円の減少に、特別収入・特別費用を加味して16,392千円の増加となりました。

勘定科目	
増減理由	

◆貸借対照表

(単位:千円)

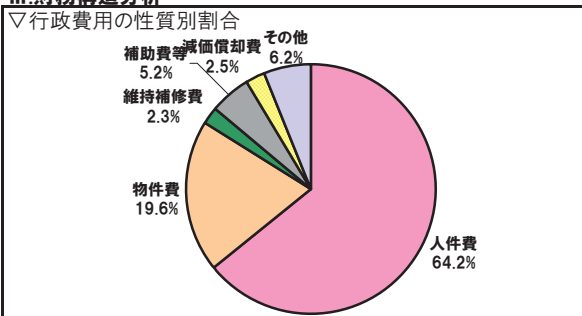
勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	16,965	19,007	2,042	
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0	
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	16,965	19,007	2,042	
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0	
	その他	0	0	0	固定負債	459,000	461,313	2,313	
事業用資産	有形固定資産	1,174,796	1,231,342	56,546	地方債	0	0	0	
	土地	400,911	400,911	0	退職手当引当金	459,000	461,313	2,313	
	建物	773,885	830,431	56,546	その他	0	0	0	
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0	
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	475,965	480,320	4,355	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	純資産	2,846,314	2,914,897	68,583	
	土地	0	0	0					
	工作物	0	0	0					
	無形固定資産	0	0	0					
	重要物品	0	0	0					
	図書	2,140,883	2,157,275	16,392					
	建設仮勘定	0	0	0					
	投資その他の資産	6,600	6,600	0					
	有価証券及出資金	6,600	6,600	0					
	特定目的基金	0	0	0					
	その他	0	0	0	純資産の部合計	2,846,314	2,914,897	68,583	
	資産の部合計	3,322,279	3,395,217	72,938	負債及び純資産の部合計	3,322,279	3,395,217	72,938	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

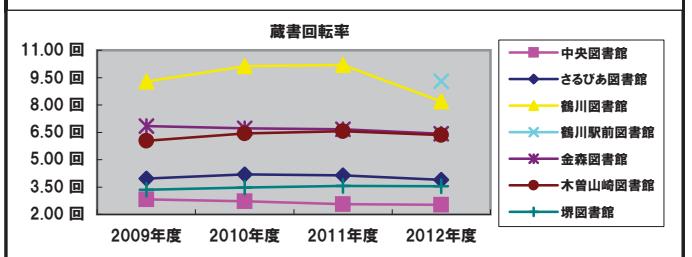
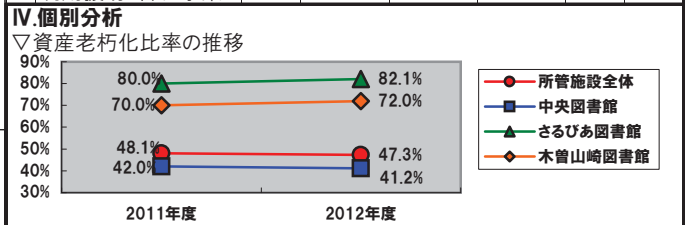
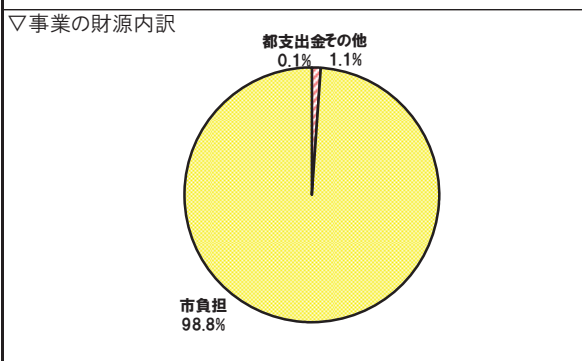
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	6,856	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	1,104,777	社会資本整備等投資活動支出	86,401	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 1,097,921	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	△ 86,401	財務活動収支差額(c)	0
			収支差額 合計 (a)+(b)+(c)		
			一般財源充当調整額		
			1,184,322		

III.財務構造分析



▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	55	2	10	2	100	23.1
内訳						
図書館管理事務	6.2		1.6	1.0		1.2
各館庶務業務	3.8		0.5		0.1	0.2
企画運営業務	9.9	0.2	0.2		4.5	
資料貸出・閲覧業務	32.4	1.8	7.5	1.0	89.3	21.7
利用援助・普及事業	2.7		0.2		6.1	



V.総括

①財務分析

- ・行政費用の64.2%を人件費が占めており、人件費の管理が財務上重要なものとなっています。
- ・行政費用の19.6%を物件費が占めており、物件費の管理も財務上重要なものとなっています。
- ・資産は、図書が土地・建物の総額を上回る金額を保有しています。
- ・財源の98.8%が市負担となっています。
- ・資産の老朽化がさるびあ図書館と木曾山崎図書館で進んでいます。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・蔵書回転率が減少傾向にあり、資産の陳腐化が進んでいます。図書購入費の増額など資産としての図書の更新が必要です。
- ・老朽化に伴う各館建物の維持補修や設備の更新などの減価償却費の増加が見込まれます。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	図書館	歳出目名	図書館費	事業名	中央図書館事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備をします。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回	2.56	2.53	2.56	2.64	貸出数を蔵書数で除したもの(AV資料を含む)。
蔵書更新率	%	4.58	3.81	3.24	5.54	受入数を蔵書数で除したもの(AV資料を含む)。
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆(仮称)忠生図書館開設とICタグシステム導入・システム更改の準備に着手しました。 ◆「利用者アンケート調査」を実施しました。 ◆子ども向けおはなし会、映画会を実施しました。 ◆一般向け映画会を実施しました。 ◆展示会、講演会事業を行いました。 ◆「新着図書案内」等館内掲示と紙媒体で各種広報活動をしました。 ◆第二次子ども読書推進計画を実施しています。 ◆図書館事業計画を作成中です。 					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		1,037	1,037
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		8,542	8,542
行政収入 小計(a)		9,579	9,579
行政費用			
人件費		366,022	366,022
物件費		106,889	106,889
うち委託料		12,304	12,304
維持補修費		10,758	10,758
扶助費		0	0
補助費等		59,423	59,423
繰出金		0	0
減価償却費		25,465	25,465
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		10,494	10,494
退職手当引当金繰入額		28,118	28,118
その他		0	0
行政費用 小計(b)		607,169	607,169
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 597,590	△ 597,590
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 597,590	△ 597,590
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出			
固定資産売却・除却損		55,243	55,243
不納欠損額		0	0
その他		1,532	1,532
特別支出 小計 (i)		56,775	56,775
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 56,775	△ 56,775
当期収支差額 (g)+(j)		△ 654,365	△ 654,365

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損の55,243千円は、図書の除籍額。特別費用その他の1,532千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整によるもの。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	中央図書館運営人件費。うち、嘱託員等報酬が105,296千円。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	臨時職員賃金22,182千円 嘱託員共済費16,001千円 電気代17,293千円 図書館書籍等配送業務委託料5,775千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	空調設備改修工事による85,050千円の増加。 減価償却費による25,465千円の減少。

勘定科目	図書
増減理由	購入・寄贈による39,397千円の増加と除籍による55,243千円の減少に、特別費用を加味して17,378千円の減少となりました。

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

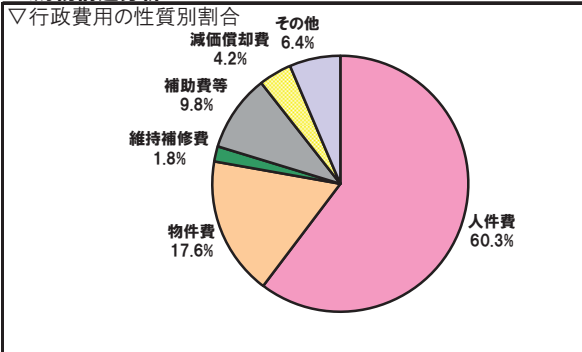
指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
蔵書数	点	2012	601,999	1,009	蔵書1点あたりの年間コストは1,009円となっています。
床面積	㎡	2012	5,968	101,737	床面積1㎡あたりの年間コストは101,737円となっています。
開館日数	日	2012	302	2,010,493	開館日1日あたりのコストは2,010,493円となっています。

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	9,369	10,494	1,125
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	9,369	10,494	1,125
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	253,478	254,702	1,224
事業用資産	有形固定資産	1,000,995	1,060,580	59,585	地方債	0	0	0
	土地	262,513	262,513	0	退職手当引当金	253,478	254,702	1,224
	建物	738,482	798,067	59,585	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	262,847	265,196	2,349
	有形固定資産	0	0	0	純資産	2,124,278	2,164,136	39,858
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	2,124,278	2,164,136	39,858
	図書	1,379,530	1,362,152	△ 17,378	負債及び純資産の部合計	2,387,125	2,429,332	42,207
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	6,600	6,600	0				
	有価証券及出資金	6,600	6,600	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	2,387,125	2,429,332	42,207				

III.財務構造分析



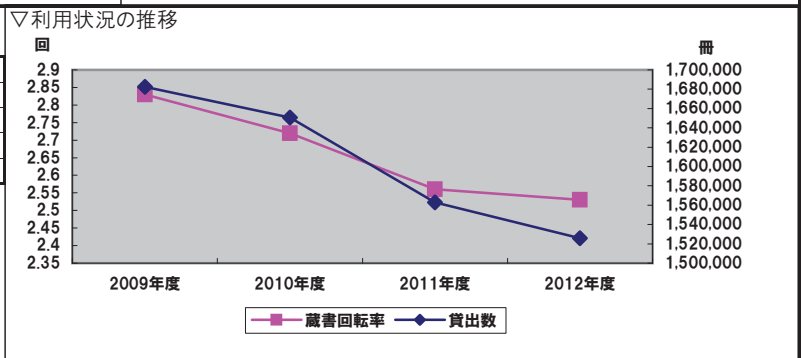
▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	30.4	0	4	2	43.7	14.1
内訳	図書館管理事務	6.1		1.6	1	1.2
	各館庶務業務	1		0.4		0.2
	企画運営業務	5		0.1		2.6
	資料貸出・閲覧業務	16		1.8	1	37.4
利用援助・普及事業	2.3		0.1		3.7	

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	町田市立中央図書館
建設年月日	1990年4月16日
取得価額	1,358,295千円
減価償却累計額	560,228千円
蔵書回転率	2.53回



V.総括

①財務分析

- ・行政費用の60.3%を人件費が占めており、人件費の管理が財務上重要なものとなっています。
- ・施設に要する行政費用は、電気代と総合管理業務負担金(57,166千円)で74,459千円となり、施設運営上重要なものとなっています。
- ・資産は、図書が土地・建物の総額を上回る金額を保有しています。
- ・図書購入費は前年度より1,133千円減少し、前年度比26.0%減少しています。
- ・蔵書回転率は前年度比1.17%減少しています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・蔵書回転率を向上させるため、図書の除籍を積極的に行った(図書資産1,7378千円減)にもかかわらず、図書購入費の減額に起因して蔵書回転率は減少傾向となっています。図書購入費の増額により、回転率に寄与する図書の一層の購入が必要です。
- ・建設後23年が経過していることから、維持補修費や設備の更新に伴う減価償却費の増加が見込まれます。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	図書館	歳出目名	図書館費	事業名	鶴川駅前図書館事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備をします。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回		9.29	9.54	10.29	貸出数を蔵書数で除したものの、年間換算しました。
蔵書更新率	%		38.43	9.22	8.33	受入数を蔵書数で除したものの。
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆建物の完成が大幅に遅れましたが、内部努力により当初予定通りの日程(2012年10月17日)及び規模で新規オープンすることができました。 ◆開館記念イベントとしておはなし会を連続開催しました。 ◆子供向けおはなし会、乳児向けおはなし会を定期的にも実施しました。 ◆各方面の視察や見学を受け付けました。 ◆利用者アンケートを実施しました。 ◆図書展示コーナーを設け、館独自の特集のほか、和光大学ポプリホール鶴川の自主事業に関連した特集展示も行いました。 					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		2,002	2,002
行政収入 小計(a)		2,002	2,002
行政費用			
人件費		64,645	64,645
物件費		45,560	45,560
うち委託料		10,473	10,473
維持補修費		0	0
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,580	1,580
退職手当引当金繰入額		19,992	19,992
その他		0	0
行政費用 小計(b)		131,777	131,777
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 129,775	△ 129,775
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 129,775	△ 129,775
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		3,857	3,857
特別収入 小計 (h)		3,857	3,857
特別支出			
固定資産売却・除却損		70	70
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		70	70
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		3,787	3,787
当期収支差額 (g)+(j)		△ 125,988	△ 125,988

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損の70千円は、図書の除籍額。特別収入その他の3,857千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整によるもの。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	鶴川駅前図書館運営人件費。うち、嘱託員報酬が28,476千円。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	初度調弁備品購入費19,940千円 総合管理委託料9,385千円 嘱託職員共済費4,655千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	図書
増減理由	購入・寄贈による31,577千円の増加と除籍による70千円の減少に、特別収入を加味して35,363千円の増加となりました。

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
蔵書数	点	2012	70,482	1,870	蔵書1点あたりの年間コストは1,870円となっています。
床面積	㎡	2012	1,190	110,737	床面積1㎡あたりの年間コストは110,737円となっています。
開館日数	日	2012	135	976,126	開館日1日あたりのコストは976,126円となっています。

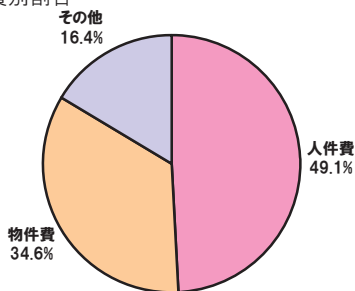
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	760	1,580	820
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	760	1,580	820
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	20,552	38,348	17,796
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	20,552	38,348	17,796
	建物	0	0	0	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	21,312	39,928	18,616
	有形固定資産	0	0	0	純資産	43,664	60,411	16,747
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0				
	図書	64,976	100,339	35,363				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	43,664	60,411	16,747
	資産の部合計	64,976	100,339	35,363	負債及び純資産の部合計	64,976	100,339	35,363

III.財務構造分析

▽行政費用の性別別割合



▽事業に関わる人員 (単位:人)

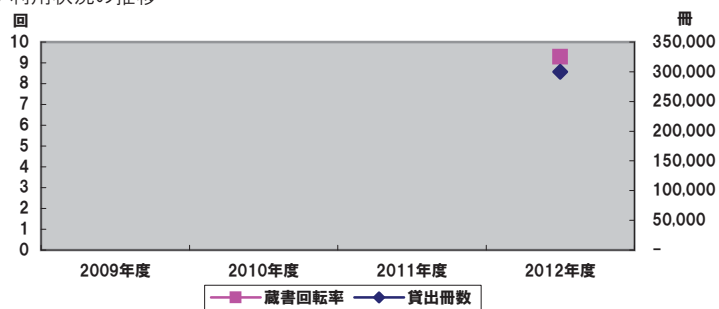
業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	4.5	0	0	0	12.7	2.8
図書館管理事務						
各館庶務事務	0.3					
企画運営業務	2.1				0.2	
資料貸出・閲覧業務	2.1				12.2	2.8
利用援助・普及事業					0.3	

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	鶴川駅前図書館
建設年月日	2012年8月31日竣工
取得価額	
減価償却累計額	
蔵書回転率	9.29回

▽利用状況の推移



V.総括

①財務分析

・今年度は開館準備のため図書などの備品購入費の額が大きく、人件費が行政費用に占める割合は49.1%と、他の図書館に比べて小さくなっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

・目標回転率に近づける為、図書購入に引き続き力を入れる必要があります。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	図書館	歳出目名	図書館費	事業名	さるびあ図書館事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備をします。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回	4.14	3.89	3.92	4	貸出数を蔵書数で除したものの。
蔵書更新率	%	6.68	4.93	4.19	7.19	受入数を蔵書数で除したものの。
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民ボランティアと協働でおはなし会(就学前後の児童向け、乳児向けや2・3歳児向け等)を開催しました。 ◆子育てひろば事業に職員を派遣しました。 ◆特集コーナーを設け、月毎にテーマを定め、資料を紹介しました。 ◆移動図書館車(2台)が42箇所のサービスステーションに2週間ごとに巡回し、サービスを実施しました。 ◆小・中学校からの依頼を受け、テーマに沿った資料を選書し配本しました。 ◆学校教育部が実施した学校図書館担当者研修会で学校図書館支援貸出制度の説明を行いました。 ◆運搬手段を持たない地域文庫と小学校に資料を配本しました。 ◆児童書を中心にリサイクル資料を地域文庫等に提供しました。 					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		595	595
行政収入 小計(a)		595	595
行政費用			
人件費		91,046	91,046
物件費		20,591	20,591
うち委託料		6,630	6,630
維持補修費		1,097	1,097
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		1,887	1,887
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		2,171	2,171
退職手当引当金繰入額		0	0
その他		0	0
行政費用 小計(b)		116,792	116,792
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 116,197	△ 116,197
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 116,197	△ 116,197
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		8,540	8,540
特別収入 小計 (h)		8,540	8,540
特別支出			
固定資産売却・除却損		5,910	5,910
不納欠損額		0	0
費用その他		667	667
特別支出 小計 (i)		6,577	6,577
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		1,963	1,963
当期収支差額 (g)+(j)		△ 114,234	△ 114,234

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損の5,910千円は、図書の除籍額。特別費用その他の667千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整によるもの。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	さるびあ図書館運営人件費。うち、嘱託員等報酬が28,451千円。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	嘱託員共済費4,348千円 臨時職員賃金1,728千円 光熱水費費3,605千円 清掃業務外委託料5,386千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	減価償却費1,886千円

勘定科目	図書
増減理由	購入・寄贈による8,416千円の増加と除籍による5,910千円の減少に、特別費用を加味して1,839千円の増加となりました。

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

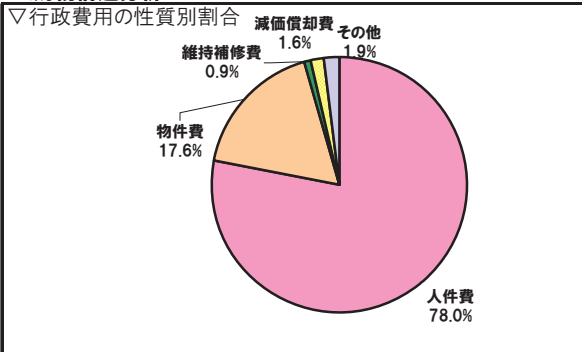
指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
蔵書数	点	2012	139,056	840	蔵書1点あたりの年間コストは840円となっています。
床面積	m ²	2012	1,260	92,692	床面積1 m ² あたりの年間コストは92,692円となっています。
開館日数	日	2012	297	393,239	開館日1日あたりのコストは393,239円となっています。

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	2,532	2,171	△ 361
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	2,532	2,171	△ 361
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	68,507	52,695	△ 15,812
事業用資産	有形固定資産	156,520	154,634	△ 1,886	地方債	0	0	0
	土地	138,398	138,398	0	退職手当引当金	68,507	52,695	△ 15,812
	建物	18,122	16,236	△ 1,886	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	71,039	54,866	△ 16,173
	有形固定資産	0	0	0	純資産	308,760	324,886	16,126
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	308,760	324,886	16,126
	図書	223,279	225,118	1,839	負債及び純資産の部合計	379,799	379,752	△ 47
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	379,799	379,752	△ 47				

III.財務構造分析



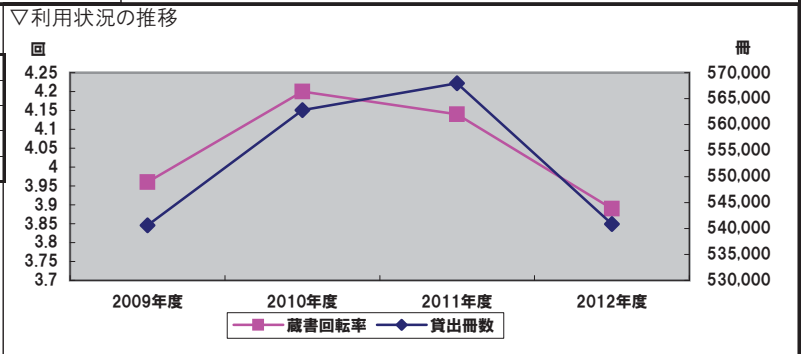
▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	6.3	0	4	0	11.7	0.7
各館庶務業務	0.5					
企画運営業務	0.9		0.1		0.6	
資料貸出・閲覧業務	4.8		3.9		10.6	0.7
利用援助・普及事業	0.1				0.5	

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	市立さるびあ図書館
建設年月日	1972年5月
取得価額	90,798千円
減価償却累計額	74,562千円
蔵書回転率	3.89回



V.総括

①財務分析

- ・移動図書館の運行や学校図書館支援貸出を担当するさるびあ図書館では人件費が8割弱を占めています。
- ・資産は、図書が土地・建物の総額を上回る金額を保有しています。
- ・建築から既に40年以上が経過しています。
- ・図書購入費は前年度より3,062千円減少し、対前年度比29.7%減少しています。
- ・蔵書回転率は対前年度比6.04%減少しています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・蔵書回転率が減少傾向にあり、資産の陳腐化が進んでいます。図書購入の増額など資産としての図書の更新が必要です。
- ・施設の老朽化率は80%を超え、今後、維持補修費の増加が見込まれます。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
主管課名	図書館
歳出目名	図書館費
事業名	鶴川図書館事業
事業類型	2 施設運営型

事業目的	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備をします。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回	10.20	8.19	8.27	8.52	貸出数を蔵書数で除したものの。
蔵書更新率	%	9.84	6.78	5.76	10	受入数を蔵書数で除したものの。
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども向けおはなし会、乳幼児向けおはなし会を実施しました。 ◆職場体験の中学2年生を受け入れました。 ◆地域の小学校や中学校に対して、図書館見学会を実施しました。 ◆常設の展示コーナーに、(児童と一般向けに)毎月テーマを替えて本を展示しています。多種多様な資料の紹介に努めています。 ◆「利用者アンケート」を実施しました。 					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		277	277
行政収入 小計(a)		277	277
行政費用			
人件費		37,511	37,511
物件費		10,083	10,083
うち委託料		1,652	1,652
維持補修費		16	16
扶助費		0	0
補助費等		156	156
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		985	985
退職手当引当金繰入額		5,555	5,555
その他		0	0
行政費用 小計(b)		54,306	54,306
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 54,029	△ 54,029
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 54,029	△ 54,029
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出			
固定資産売却・除却損		2,171	2,171
不納欠損額		0	0
その他		94	94
特別支出 小計 (i)		2,265	2,265
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 2,265	△ 2,265
当期収支差額 (g)+(j)		△ 56,294	△ 56,294

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損の2,171千円は、図書の除籍額。特別費用その他の94千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整によるもの。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	鶴川図書館運営人件費。うち、嘱託員等報酬が14,959千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	嘱託員共済費2,295千円 臨時職員賃金1,541千円 清掃委託料1,134千円 建物借上料1,620千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	図書
増減理由	購入・寄贈による4,056千円の増加と除籍による2,171千円の減少に、特別費用を加味して、1,790千円の増加となりました。

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

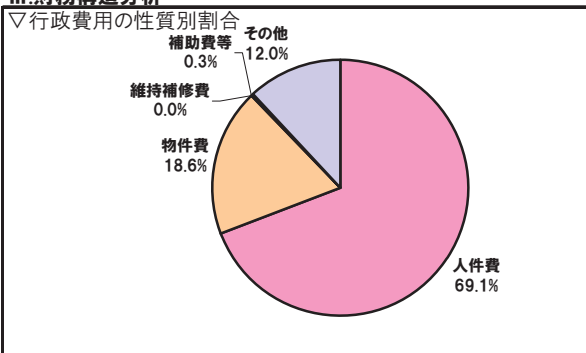
指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
蔵書数	点	2012	53,110	1,023	蔵書1点あたりの年間コストは1,023円。蔵書数が少ないため、他館に比べて若干コストが高い。
床面積	㎡	2012	259.75	209,070	床面積1㎡あたりの年間コストは209,070円。床面積が少ないので、他館に比べて若干コストが高い。
開館日数	日	2012	297	182,848	開館日1日あたりのコストは182,848円となっています。

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	760	985	225
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	760	985	225
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	20,552	23,911	3,359
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	20,552	23,911	3,359
	建物	0	0	0	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	負債の部合計	21,312	24,896	3,584
	土地	0	0	0	純資産	41,530	39,736	△ 1,794
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	0	0	0				
	図書	62,842	64,632	1,790				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	41,530	39,736	△ 1,794
資産の部合計	62,842	64,632	1,790	負債及び純資産の部合計	62,842	64,632	1,790	

III.財務構造分析



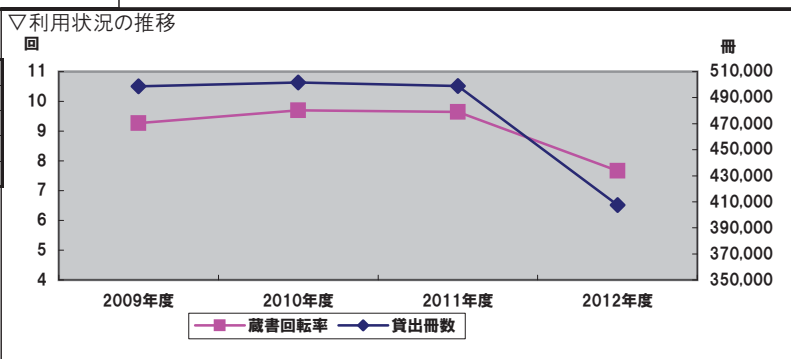
▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	2.9	0	0	0	5.7	1
内訳	図書館管理業務					
	各館庶務業務	0.5				
	企画運営業務	0.4			0.1	
	資料貸出・閲覧業務	1.9			5.4	1.0
利用援助・普及事業	0.1				0.2	

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名称	町田市立鶴川図書館
建設年月日	1972年2月15日
取得価額	賃貸物件
減価償却累計額	
蔵書回転率	8.19回



V.総括

①財務分析

- ・行政費用の69.1%を人件費で占めています。
- ・図書購入費は前年度より1,786千円減少、対前年度比35.0%減少しています。
- ・蔵書回転率は対前年度比19.71%減少しています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・蔵書回転率が減少傾向にあり、資産の陳腐化が進んでいます。図書購入の増額など資産としての図書の更新が必要です。
- ・施設が40年経過し老朽化していて大規模な修繕が行われていないことから、今後維持補修費の増加が見込まれます。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	図書館	歳出目名	図書館費	事業名	金森図書館事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備をします。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回	6.66	6.42	6.54	6.91	貸出数を蔵書数で除したものの。
蔵書更新率	%	7.25	5.57	4.73	8.33	受入数を蔵書数で除したものの。

定性的な成果

- ◆週1回のおはなし会、月1回の乳幼児おはなし会を開催しました。
- ◆年2回のブックトークを行いました。
- ◆小学校2～3学年の授業(図書館見学)を毎年4校受け入れています。
- ◆中学2年生の職場体験3期6名の受入を行いました。
- ◆金森図書館利用者懇談会を開催しました。
- ◆夏休みの利用が多い時期に、駐車場の監視体制を強化しました。
- ◆施設管理のため屋上防水工事をを行いました。

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		691	691
行政収入 小計(a)		691	691
行政費用			
人件費		69,991	69,991
物件費		23,841	23,841
うち委託料		5,942	5,942
維持補修費		13,704	13,704
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,367	1,367
退職手当引当金繰入額		2,577	2,577
その他		0	0
行政費用 小計(b)		111,480	111,480
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 110,789	△ 110,789
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 110,789	△ 110,789
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出			
固定資産売却・除却損		11,185	11,185
不納欠損額		0	0
その他		7	7
特別支出 小計 (i)		11,192	11,192
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 11,192	△ 11,192
当期収支差額 (g)+(j)		△ 121,981	△ 121,981

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損の11,185千円は、図書を除籍額。特別費用その他の7千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整によるもの。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	金森図書館運営人件費。うち、嘱託員等報酬が31,263千円

勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	屋上防水工事 13,205千円 高圧電源遮断機交換 499千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	固定資産(図書)
増減理由	購入・寄贈による8,779千円の増加と除籍による11,185千円の減少に、特別費用を加味して2,413千円の減少となりました。

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

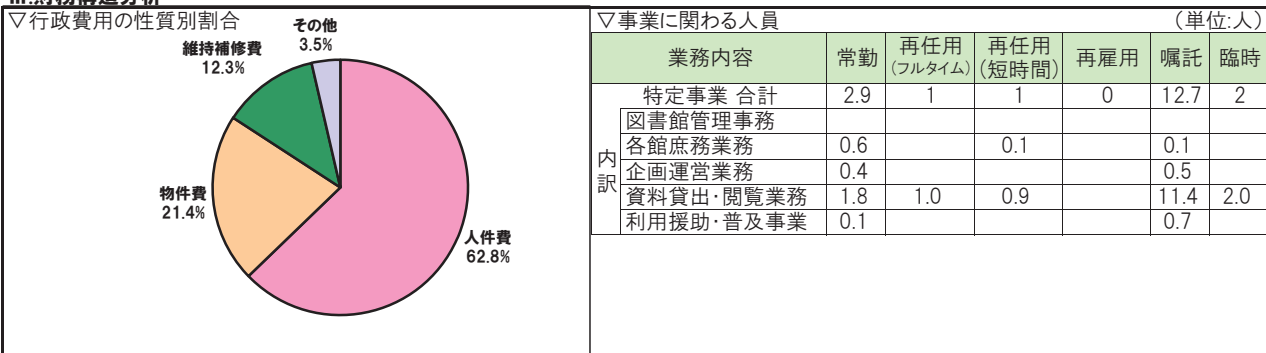
指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
蔵書数	冊	2012	135,825	821	蔵書1冊あたり821円のコストがかかっています。今後、維持補修費が減になればコストも下がります。
床面積	㎡	2012	1499.5	74,345	床面積1㎡あたりのコストは74,345円となっています。
開館日数	日	2012	297	375,354	開館日1日あたりのコストは375,354円となっています。

◆貸借対照表

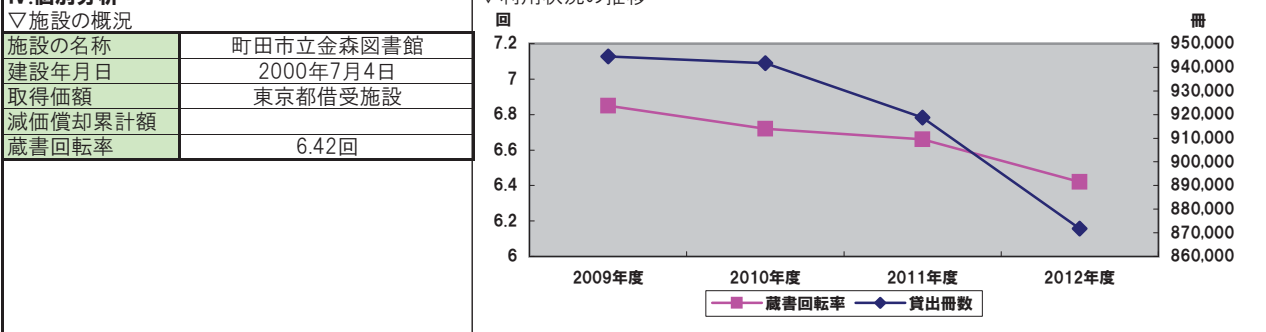
(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	1,266	1,367	101
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	1,266	1,367	101
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	34,254	33,171	△ 1,083
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	34,254	33,171	△ 1,083
	建物	0	0	0	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	35,520	34,538	△ 982
	有形固定資産	0	0	0	純資産	149,643	148,212	△ 1,431
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0	純資産の部合計	149,643	148,212	△ 1,431
	図書	185,163	182,750	△ 2,413	負債及び純資産の部合計	185,163	182,750	△ 2,413
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	185,163	182,750	△ 2,413				

III.財務構造分析



IV.個別分析



V.総括

①財務分析

・人件費が62.8%も占めており、図書館の運営管理の物件費と、建物の維持管理の補修費を合わせて96.5%になります。しばらくは建物管理上この状況が続くと思われます。今年度の維持補修費は屋上防水工事・高圧遮断機交換を行っているため割合が高くなっています。

・図書購入費は前年度より3,265千円減少、対前年度比31.1%減少しています。

・蔵書回転率は対前年度比3.6%減少しています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

・蔵書回転率を向上させるため、図書の除籍を積極的に行った(図書資産2,413千円減)にもかかわらず、図書購入費の減額に起因して蔵書回転率は減少傾向となっています。図書購入費の増額により回転率に寄与する図書の一層の購入が必要です。

・建物は13年が経過し、引き続き維持管理のための経費が必要になります。計画的に交換・修理をすることが重要になります。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
-----	-------

主管課名	図書館	歳出目名	図書館費	事業名	木曾山崎図書館事業
				事業類型	2 施設運営型

事業目的	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備をします。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回	6.56	6.35	6.37	6.42	貸出数を蔵書数で除したものの。
蔵書更新率	%	9.08	6.74	5.73	10	受入数を蔵書数で除したものの。
定性的な成果						<ul style="list-style-type: none"> ◆週1回のおはなし会、月2回の乳幼児向けおはなし会の他、夏休み・冬休み・春休み等に臨時おはなし会、科学遊び、ブックトークを行いました。また、館外でもおはなし会、ブックトークを行いました。 ◆とよかんこどもまつり等、ボランティア団体と協力して行事を行いました。 ◆月1回子ども向け映画会を開催しました。 ◆中学2年生の職場体験3期6名の受け入れを行いました。 ◆地域の小学校の図書館見学を受け入れました。 ◆木曾山崎センターまつりでチャリティー古本市と子ども映画会を実施しました。

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		340	340
行政収入 小計(a)		340	340
行政費用			
人件費		44,546	44,546
物件費		9,199	9,199
うち委託料		1,605	1,605
維持補修費		393	393
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		1,152	1,152
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,053	1,053
退職手当引当金繰入額		1,075	1,075
その他		0	0
行政費用 小計(b)		57,418	57,418
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 57,078	△ 57,078
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 57,078	△ 57,078
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		0	0
特別収入 小計 (h)		0	0
特別支出			
固定資産売却・除却損		6,289	6,289
不納欠損額		0	0
その他		115	115
特別支出 小計 (i)		6,404	6,404
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 6,404	△ 6,404
当期収支差額 (g)+(j)		△ 63,482	△ 63,482

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損の6,289千円は、図書の除籍額。特別費用その他の115千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整によるもの。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	木曾山崎図書館運営費。うち、嘱託員等報酬が 17,124千円

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	嘱託員共済費 2,624千円 臨時職員賃金 1,576千円 清掃業務委託 1,155千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	図書
増減理由	購入・寄贈による5,106千円の増加と除籍による6,289千円の減少に、特別費用を加味して1,297千円の減少となりました。

勘定科目	建物
増減理由	減価償却費による1,152千円の減少。

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
蔵書数	冊	2012	67,224	854	蔵書1点あたりの年間コストは854円となっています。
床面積	㎡	2012	320.6	179,095	床面積1㎡あたりの年間コストは179,095円となっています。
開館日数	日	2012	297	193,327	開館日1日あたりのコストは193,327円となっています。

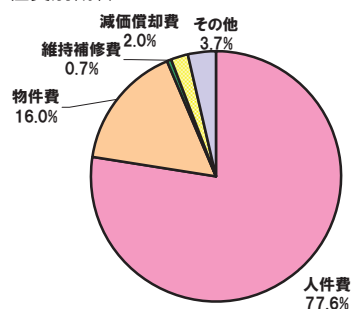
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	1,013	1,053	40
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	1,013	1,053	40
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	27,403	25,550	△ 1,853
事業用資産	有形固定資産	17,280	16,128	△ 1,152	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	27,403	25,550	△ 1,853
	建物	17,280	16,128	△ 1,152	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	28,416	26,603	△ 1,813
	有形固定資産	0	0	0	純資産	78,854	78,218	△ 636
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0				
	図書	89,990	88,693	△ 1,297				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0	純資産の部合計	78,854	78,218	△ 636
	資産の部合計	107,270	104,821	△ 2,449	負債及び純資産の部合計	107,270	104,821	△ 2,449

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業に関わる人員 (単位:人)

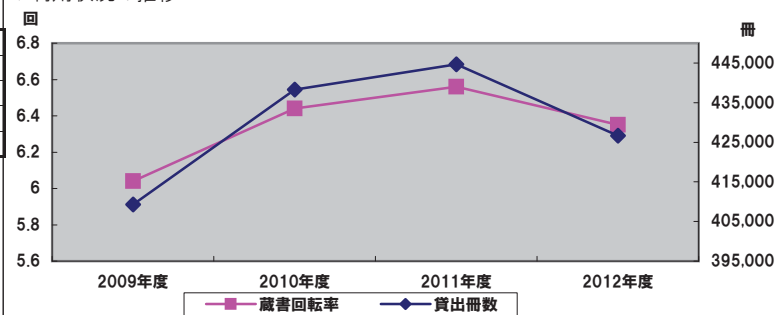
業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託 臨時	
					嘱託	臨時
特定事業 合計	3	0	1	0	6.9	0.9
内訳						
図書館管理事務						
各館庶務業務	0.4					
企画運営業務	0.4				0.2	
資料貸出・閲覧業務	2.1		1		6.3	0.9
利用援助・普及事業	0.1				0.4	

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名	町田市立木曽山崎図書館
建設年月日	1976年3月25日
取得価額	57,600千円
減価償却累計額	41,472千円
蔵書回転率	6.35回

▽利用状況の推移



V.総括

①財務分析

- ・行政費用の77.6%が人件費となっています。
- ・図書購入費は前年度より1,958千円減少し、前年度比33.2%減少しています。
- ・蔵書回転率は前年度比3.20%減少しています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・蔵書回転率を向上させるため、図書の除籍を積極的に行った(図書資産1,297千円減)にもかかわらず、図書購入費の減額に起因して蔵書回転率は減少傾向となっています。図書購入費の増額により回転率に寄与する図書の一層の購入が必要です。
- ・建設から37年が経過し、施設の老朽化がかなり進んでいます。市民が安全・快適に利用できる施設であるためには、今後さらに維持補修費等の増加が見込まれることから、大規模改修・建て替えを含め長期的な視点に立った検討が必要です。

特定事業別財務諸表

部局名	生涯学習部
主管課名	図書館
歳出目名	図書館費
事業名	堺図書館事業
事業類型	2 施設運営型

事業目的	市民がライフステージに応じ必要となる知識・情報等を、「いつでも・どこでも・だれでも」自由に手に入れることができる環境の整備をします。
------	--

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
蔵書回転率	回	3.56	3.54	3.59	3.73	貸出数を蔵書数で除したものの。
蔵書更新率	%	7.27	5.57	4.73	8.33	受入数を蔵書数で除したものの。
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ◆町田市北西部地域を中心に、2週間を1サイクルとして22箇所移動図書館車による巡回を行いました。 ◆相原・小山地域の保育園・小学校・学童クラブ・こどもセンターと連携し、子供読書活動を推進しました。 ◆乳幼児向けお話を実施しました。 ◆子供向けお話し会・映画会を実施しました。 ◆館内の一角に展示スペースを設置し、地域住民を中心に展示会を実施しました。 ◆子育て広場にて読み聞かせを行いました。 					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		0	0
繰入金		0	0
その他		312	312
行政収入 小計(a)		312	312
人件費		57,139	57,139
物件費		6,395	6,395
うち委託料		0	0
維持補修費		0	0
扶助費		0	0
補助費等		0	0
繰出金		0	0
減価償却費		0	0
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,357	1,357
退職手当引当金繰入額		2,344	2,344
その他		0	0
行政費用 小計(b)		67,235	67,235
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 66,923	△ 66,923
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 66,923	△ 66,923
特別収入 固定資産売却益		0	0
その他		119	119
特別収入 小計 (h)		119	119
特別支出 固定資産売却・除却損		6,567	6,567
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		6,567	6,567
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		△ 6,448	△ 6,448
当期収支差額 (g)+(j)		△ 73,371	△ 73,371

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	特別収入・特別費用
決算額の主な内訳	固定資産売却・除却損の6,567千円は、図書の除籍額。特別収入その他の119千円は、図書館システムと財務会計システムの図書金額の調整によるもの。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	堺図書館運営人件費。うち、嘱託員等報酬が21,885千円。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	嘱託員共済費3,351千円 臨時職員賃金771千円 返却ポスト備品購入額389千円

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	固定資産(図書)
増減理由	購入・寄贈による4,936千円の増加と除籍による6,567千円の減少に、特別費用を加味して1,511千円の減少となりました。

勘定科目	
増減理由	

勘定科目	
増減理由	

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
蔵書数	冊	2012	74,678	900	蔵書1点あたりの年間コストは900円となっています。
床面積	m ²	2012	505	133,139	床面積1 m ² あたりの年間コストは133,139円となっています。
開館日数	日	2012	297	226,380	開館日1日あたりのコストは226,380円となっています。

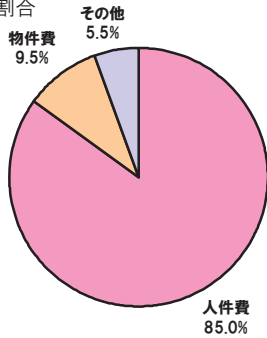
◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	1,266	1,357	91
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	1,266	1,357	91
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	34,254	32,937	△ 1,317
事業用資産	有形固定資産	0	0	0	地方債	0	0	0
	土地	0	0	0	退職手当引当金	34,254	32,937	△ 1,317
	建物	0	0	0	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
インフラ資産	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	負債の部合計	35,520	34,294	△ 1,226
	土地	0	0	0	純資産	99,582	99,297	△ 285
	工作物	0	0	0				
固定資産	無形固定資産	0	0	0				
	重要物品	0	0	0				
	図書	135,102	133,591	△ 1,511				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0				
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	135,102	133,591	△ 1,511	負債及び純資産の部合計	135,102	133,591	△ 1,511

III.財務構造分析

▽行政費用の性質別割合



▽事業に関わる人員

(単位:人)

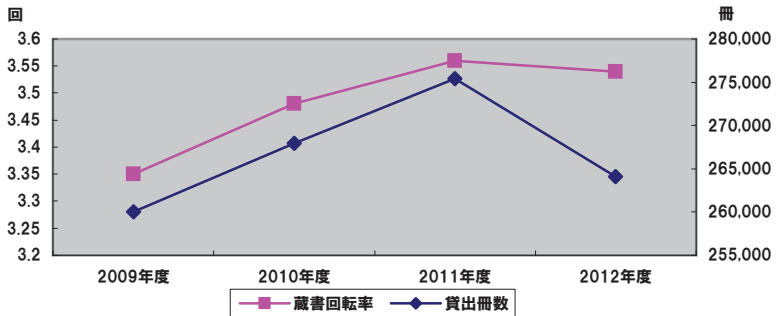
業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
特定事業 合計	4	1	0	0	6.7	1.7
内訳						
図書館管理事務			0	0	0	0
各館庶務業務	0.5		0	0	0	0
企画運営業務	0.4	0.1	0	0	0.4	0
資料貸出・閲覧業務	3.1	0.9	0	0	6.1	1.7
利用援助・普及業務			0	0	0.2	0

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名	町田市立堺図書館
建設年月日	1983年9月25日
取得価額	
減価償却累計額	
蔵書回転率	3.54回

▽利用状況の推移



V.総括

①財務分析

- ・施設管理費等の支出の大部分を堺市民センターで負担していることから、人件費が全体の約85%と高い率になっています。
- ・図書購入費は前年度比1,958千円33.20%減少しています。
- ・蔵書回転率は前年度比0.56%減少しています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

- ・蔵書回転率を向上させるため、図書の除籍を積極的に行った(図書資産1,511千円減)にもかかわらず、図書購入費の減額に起因して蔵書回転率は減少傾向となっています。図書購入費の増額により、回転率に寄与する図書の一層の購入が必要です。

歳出目別財務諸表

部局名	生涯学習部	主管課名	図書館	歳出目名	文学館費
				事業類型	d 事業的(特定事業類型1)

組織のミッション	文学館のミッションは、市民が文学に向き合うために、町田に関する文学作品及び市民の文学的著作等の収集、保存、調査研究を行い、文学情報を展示や講座、講演会を通じて発信し、多くの人々が文学に触れる機会を作ることです。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 文学資料の収集、保存、展示に関すること。文学館資料、図書館資料の館内閲覧、館外貸出しに関すること。 文学に関する調査研究に関すること。講演会、講座、映画会等の開催に関すること。 市民の文学に関する活動の援助に関すること。文学に関する広報活動に関すること。 文学に関する出版物等の作成及び販売に関すること。文学資料の寄贈及び寄託に関すること。

I. 事業の成果

指標名	単位	2011年度	2012年度	2013年度	2016年度	定量的な成果の説明
展覧会観覧者数	人	26,231	28,395	23,000	25,000	基本的に年4回開催している展覧会の会場に入場した観覧者の人数。
来館者数	人	59,084	64,773	61,000	65,000	展覧会の観覧、会議室の利用、図書資料の閲覧・貸出、イベントの参加等で文学館に入館した来館者の人数。
定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校等と連携した学習支援事業を開催しています。 市内各施設、企業、団体との協力連携事業を開催しています。 文学館主催のワークショップ・講座・講演会・研究会を開催しています。 購入・寄贈により文学資料を収集しています。 文学に関する出版物を作成して販売しています。 					

II. 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	A	2012年度 B	差額 B-A
行政収入			
地方税		0	0
国庫支出金		0	0
都支出金		0	0
分担金及負担金		0	0
使用料及手数料		2,429	2,429
繰入金		0	0
その他		1,001	1,001
行政収入 小計(a)		3,430	3,430
行政費用			
人件費		47,834	47,834
うち時間外勤務手当		2,540	2,540
物件費		40,454	40,454
うち委託料		17,148	17,148
維持補修費		1,138	1,138
扶助費		0	0
補助費等		2,720	2,720
繰出金		0	0
減価償却費		13,423	13,423
不納欠損引当金繰入額		0	0
賞与引当金繰入額		1,615	1,615
退職手当引当金繰入額		0	0
その他		0	0
行政費用 小計(b)		107,184	107,184
行政収支差額 (a)-(b)=(c)		△ 103,754	△ 103,754
金融収入 (d)		0	0
金融費用 (e)		0	0
金融収支差額 (d)-(e)=(f)		0	0
通常収支差額 (c)+(f)=(g)		△ 103,754	△ 103,754
特別収入			
固定資産売却益		0	0
その他		3,473	3,473
特別収入 小計 (h)		3,473	3,473
特別支出			
固定資産売却・除却損		0	0
不納欠損額		0	0
その他		0	0
特別支出 小計 (i)		0	0
特別収支差額 (h)-(i)=(j)		3,473	3,473
当期収支差額 (g)+(j)		△ 100,281	△ 100,281

◆行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	使用料及手数料
決算額の主な内訳	施設使用料1,888千円、附属設備使用料101千円、及び展覧会観覧料440千円。

勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	施設管理、展覧会開催、学習事業運営、資料収集、資料貸出・閲覧等を行うための職員給与、嘱託員報酬9,974千円、嘱託員社会保険料1,536千円等。

勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	委託料17,148千円(施設貸出・管理業務委託4,145千円等)、需用費10,977千円(光熱水費8,013千円等)、備品購入費4,000千円(資料購入)等。

◆貸借対照表の増減理由(差額上位3項目)

勘定科目	建物
増減理由	減価償却による13,423千円の減少。

勘定科目	退職手当引当金
増減理由	従事人員の変動による。

勘定科目	賞与引当金
増減理由	119千円の減少。

◆単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容
町田市市民文学館 来館者数1人あたり コスト	人	2012	64773	1,655	来館者1人あたり1,655円のコストがかかっています。
開館日数1日あたり のコスト	日	2012	302	354,914	開館日(2012年度は302日間)1日あたり354,914円のコストがかかっています。
		2012			

◆貸借対照表

(単位:千円)

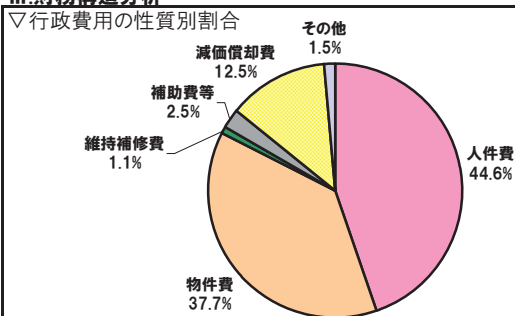
勘定科目		2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A	勘定科目	2011年度末 A	2012年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	0	0	0	流動負債	1,734	1,615	△ 119
	未収金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	地方債	0	0	0
	財政調整基金	0	0	0	賞与引当金	1,734	1,615	△ 119
	貸倒引当金	0	0	0	その他	0	0	0
	その他	0	0	0	固定負債	46,922	39,198	△ 7,724
事業用資産	有形固定資産	824,947	811,524	△ 13,423	地方債	0	0	0
	土地	220,902	220,902	0	退職手当引当金	46,922	39,198	△ 7,724
	建物	604,045	590,622	△ 13,423	その他	0	0	0
	工作物	0	0	0	繰延収益	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	48,656	40,813	△ 7,843
	有形固定資産	0	0	0	純資産	776,291	770,711	△ 5,580
	土地	0	0	0				
	工作物	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0				
固定資産	重要物品	0	0	0	負債及び純資産の部合計	824,947	811,524	△ 13,423
	図書	0	0	0				
	建設仮勘定	0	0	0				
	投資その他の資産	0	0	0	純資産の部合計	776,291	770,711	△ 5,580
	有価証券及出資金	0	0	0				
	特定目的基金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	資産の部合計	824,947	811,524	△ 13,423				

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	3,431	社会資本整備等投資活動収入	0	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	98,131	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 94,700	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	0	財務活動収支差額(c)	0
				収支差額 合計 (a)+(b)+(c)	△ 94,700
				一般財源充当調整額	94,700

III.財務構造分析



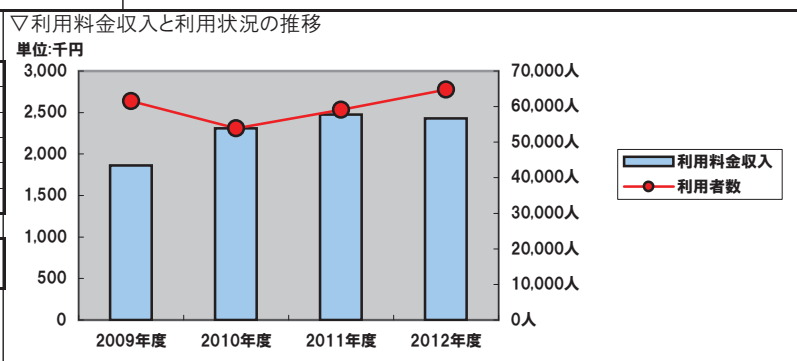
▽事業に関わる人員 (単位:人)

業務内容	常勤	再任用 (フルタイム)	再任用 (短時間)	再雇用	嘱託	臨時
歳出目 合計	6	0	0	0	6	3.1
内訳						
管理事務	3.1				1.0	0.5
展示事業	2.6				1.7	1.4
学習事業	0.2				1.5	0.8
資料収集事業	0.1				1.4	0.3
資料貸出・閲覧事業	0.0				0.4	0.1

IV.個別分析

▽施設の概況

施設の名	町田市民文学館ことばらんど
建設年月日	2006年6月1日
取得価額	671,161千円
減価償却累計額	80,539千円
利用者数	64,773人
利用料金収入	2,429千円
受益者負担の割合	2.3%



V.総括

①財務分析

施設の管理運営、展覧会の開催、学習事業運営が主要な事業となっており、行政費用の8割以上が人件費と物件費に占められています。施設内の補修箇所が増加し、年間1,138千円の維持補修費を必要としました。来館者1人あたりのコストを算出すると、1,655円ですが、使用料及手数料の収入ではほとんどそのコストが賄えていない状況(受益者負担の割合は2.3%)となっています。

②財務分析を踏まえた事業の課題

行政費用の多くを占める人件費と物件費の内、施設管理のための物件費はほぼ変わらないため、その他の展示と学習に係る物件費や人件費について、どのような水準が適切か検証していくことが課題となります。開館後7年を経過した施設の現状を検証し、計画的な維持補修を進めることが必要となります。来館者は増加傾向にあるものの、受益者負担の割合が2.3%と低い数値にあります。展覧会及び会議室使用料の見直しと共に、その他の収入に当たる物品売払や受託販売を行うことにより、来館者から使用料以外の収入を図ることも必要となります。印刷機使用料の見直しや、講演会等の参加費徴収なども検討する必要があります。